

とやま棚田ネットワーク

とやまの棚田写真展

棚田の持つ素晴らしさを守り伝えていくために、昨年に引き続き「とやまの棚田写真展」を開催します。富山県の棚田の魅力が伝わるすばらしい作品を展示しておりますので、是非ご覧ください。

(審査会)

平成18年1月24日に行われました

(応募点数)

76点

(撮影場所)

県内の約30箇所の棚田で撮影されました

(展示日程)

イオン高岡ショッピングセンター 2階 バセリハウス前 (高岡市下伏間江383番地)

2月17日(金)~20日(月)

10:00~22:00

20日のみ 10:00~17:00

ファボーレ 1階 はなの道 (婦中町下棚田165番地の1)

2月24日(金)~27日(月)

10:00~21:00

新川文化ホール 1階 ロビー (魚津市宮津110番)

3月10日(金)~13日(月)

10:00~18:00

《入賞作品》

金賞

① 棚田暮らし 大橋 欣次

銀賞

② 土と水あって、生きる 南 幸男

③ 春の足音 沖 保治

銅賞

④ 「春の棚田」 村上 久信

⑤ 棚田の代掻き 寺崎 章

⑥ 田んぼふたたび 人ふたたび 大楠 立紀

⑦ 収穫 福永 信幸

⑧ 棚田の朝 島倉 譲

⑨ 稲刈り日和 戸田 克喜

⑩ 棚田のかかし 若林 繁

特別賞

秋実感 中村 満

みんなで田植 前田 好一

自然の美しさ 黒崎 由紀子

合掌の里にも春の訪れ 今井 春継

よみがえった棚田 喜田 智恵子

稲刈り体験の笑顔 荒木 博昭

(敬称略・応募受付順)



金賞①



銀賞②



銀賞③



銅賞

④	⑤	⑥	⑦
	⑧	⑨	⑩



棚田とは？

一般には、山地や丘陵地などにおける階段状の田んぼを「棚田」と呼んでいます。(国や県では地形勾配が1/20以上の急な農地を棚田と呼んでいます)

棚田保全への取り組み

富山県では棚田地域を直接対象とした以下の事業を実施し、棚田の保全に取り組んでいます。

棚田地域水と土保全基金事業

棚田地域の多面的機能の確保と集落活動の活性化を図るため「富山県棚田地域水と土保全基金」を設け、その運用益を活用して、次の3つの事業を行っています。

保全ネットワーク推進事業 (県で実施)

- ・都市住民等に棚田保全の必要性をPR (パンフレットや広報誌の発行等)
- ・とやま棚田ネットワークの活動支援

保全活動推進事業 (県で実施、一部市町村へ助成)

- ・調査・研究、活動計画の策定 (棚田保全方針策定事業)
- ・指導者の人材育成等 (情報収集や研修会の参加派遣等)

保全活動支援事業 (市町村へ助成)

- ・集落組織等が行う棚田地域の保全活動に要した経費へ助成 (棚田保全活動事業)



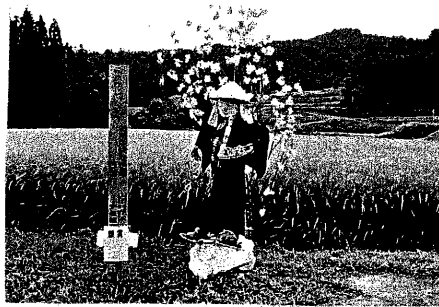
やまだのかかしコンテスト開催報告

平成17年8月21日に棚田保全活動の一環として、富山市山田赤目谷の棚田で「やまだのかかしコンテスト」を開催し、審査の結果、上位7点が選ばれました。

日本の原風景とも言われる美しい棚田の大切さを、かかしづくりの楽しさを通して伝え、棚田保全への意識を高める取り組みになりました。



金賞
スズメと対決！
(となみかかし研究会)



銀賞
啓翁椽で大もうけ
(山田村花木生産組合)



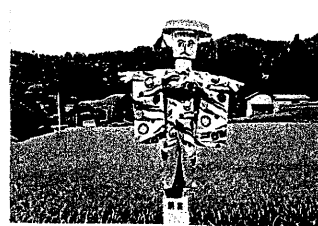
銀賞
一本立のかかしと子供の会話
(中本 知子)



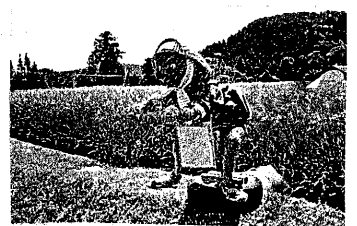
銅賞
山田のてんころ娘
(森 としい)



銅賞
山田のアイドルてんころちゃん
(橋爪 嘉那)

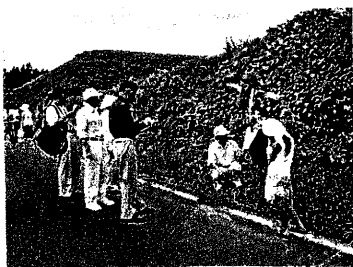


銅賞
山の田のカカアの足
(村上 弘子)



特別賞
山田の棚田へどじょうひきに来た
(杉澤 泰子)

《 コンテスト開催風景 》



力作ぞろいで審査にも
熱が入ります



棚田をバックに
かかし鑑賞

平成18年度も「やまだのかかしコンテスト」開催予定です。
会員の皆様も、楽しいかかしづくりに挑戦してみませんか？
コンテストの詳細が決まり次第改めてご案内いたします。



第11回全国棚田（千枚田）サミットに参加して

とやま棚田ネットワーク副会長 高木 美奈子

2005年9月2～3日愛知県鳳来町にて開催され、参加してきましたので簡単に報告します。

初日は、木村尚三郎氏の基調講演・四谷の棚田（千枚田）見学・全体交流会、2日目は分科会・連谷小学校の「私達の千枚田」の事例発表などに出席しました。

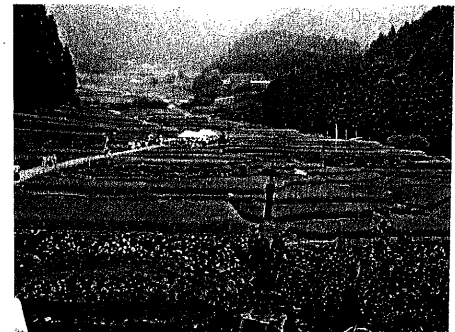
ここでは四谷の棚田（千枚田）を紹介します。

石積みとモザイク状の見事な棚田です。この棚田は過去に幾度も災害にあい、更に明治37年に土石流によって全滅。それを乗り越えて築き上げられ受け継がれてきたのだそうです。1999年には全国棚田100選に指定され、今回のサミットを機に更に永遠の保全を誓う機会にしたい旨、若年層から高齢層まで一丸となって取り組んでおられる姿勢には感動を覚えました。

棚田は町の北端部の鞍掛山（883m棚田の水源地）の中腹斜面にあり、標高は約200～400m余りの区間、比高差約200m、全長は約1.5kmあります。最頂部には、ふれあい広場と駐車場・トイレが設置。棚田の中には環境に配慮した土色で浸水性の舗装作業道が整備され、軽トラが通れるようになり労力軽減、見学者の散策路としても役立っています。四阿、水車小屋も設けられ、竹樋で水を送り、野面石積みは災害時流出の石、いずれにも先人の知恵と歴史が生きています。整備は「ふるさと水と土ふれあい事業」「中山間地域等の直接支払い制度」の支援によってなされたものです。課題は戸数約50戸、人口は200人。過疎、高齢化、少子化が進行する集落。猪等の被害頻繁（電気柵対策）。

棚田の枚数は1296枚。現在の農家数は30戸未満で水田耕作枚数は420枚。放棄田などは、梅の植栽と耕作希望者に土地を貸して景観保持につとめられています。

棚田をとおして地区の連帯感と熱い気迫が伝わってきたサミットでした。



とやま棚田ネットワーク委員会の開催報告

平成17年11月22日 とやま棚田ネットワーク委員会を開催しました。

委員会では、・保全活動支援事業の取り組み方

- ・棚田保全活動のPR方法(平成18年度も富山市山田で、やまだのかかしコンテストの開催が決定)
- 等、活発な意見交換がありました。

また、次期ネットワーク委員体制として、広瀬会長が顧問へ就任され、助重委員が会長に就任されました。併せて、大作さん・小西さん・北原さん・平井さんを委員に迎えています。

顧問	広瀬 慎一 (富山県立大学教授)	委員	中陳 志美子(主婦)
	遠藤 和子 (作家)		金山 加代子(食の伝承人)
	中島 峰広 (元早稲田大学教授 棚田学会会長代理)		前田 徳二 (八尾三乗堂農組会長)
	高野 光世 (棚田支援市民ネットワーク事務局長)		大作 隆一 (団体職員)
会長	助重 雄久 (富山国際大学地域学部講師)		小西 百合子(団体職員)
副会長	高木 美奈子(県自然解説員)		北原 俊一 (財団法人たいら農業公社事務局長)
			平井 貞夫 (富山市山田総合行政センター産業建設課長)

みんなで棚田を守らんまいけ！

事務局からのお願い・・・
住所などの変更がございましたら、お手数ですが、事務局までご連絡ください。

とやま棚田ネットワーク事務局

社団法人 富山県農林水産公社 設計管理課内
〒930-0096 富山市舟橋北町4-19
TEL 076-441-7398 FAX 076-444-3851
ホームページ <http://www.taff.or.jp>